

蓬田

広報

yomogita
village

目次

- 特集！これからの一次産業・・・1
- 村の出来事・・・2
- 蓬田村成人式・・・3
- お知らせ・・・5
- 戸籍の窓口、
 こんにちは！保健師です・・・7

全身に響く迫力ある太鼓の音

7月28日(木)、29日(金)に行われた蓬田村子ども会リーダー研修会。
参加した小学生は、蓬田村ねぶた囃子愛好会の指導のもと、ねぶたの
太鼓と手振り鉦を体験し、祭り本番さながらの雰囲気を楽しみました。

9

2016 No.521

これからの一次産業

取組編

農業振興を目指し、弘前大学と連携

8月号では一次産業の体験編として、小中学生の農漁業体験学習を受け入れる農協・漁協の取組を紹介しました。今月号では、新規作物の産地づくりとホタテ残渣堆肥の活用に向けて、村と弘前大学が連携して行っている事業を紹介します。



産 蓬田玉ねぎ生産組合

村では、農業所得の向上、移住促進、後継者育成、雇用の創出、空き家対策など、地方創生で浮き彫りとなった課題や要望の解決に向けた取組を進めています。中でも、農業の経営基盤強化を重点施策として位置づけました。その一つが、「産学官連携事業」です。

産学官連携事業とは

地域の団体、大学、自治体がお互いの強みを生かしながら連携し、施策を実現することです。

◆「産」 蓬田玉ねぎ生産組合

◆「学」 弘前大学

◆「官」 蓬田村

村では、右記3団体の連携により、高収益作物の産地づくりと、ホタテ残渣堆肥の最適活用の実現を目指しています。

なぜ玉ねぎなのかな?

- ・気候など地域に適した作物である
 - ・近隣に玉ねぎの産地がない
 - ・1年に2回収穫が可能である
- これらの理由から、高収益が期待できる玉ねぎを選定し、試験栽培を始めました。

ホタテ残渣堆肥の活用状況は?

昨年10月、ホタテガイ養殖残渣堆肥処理施設で製造した堆肥を、村内の農家らに無料配布しました。農家は、そばの転作田や畑に散布して作物と堆肥の相性を確かめています。

玉ねぎ栽培にもホタテ残渣堆肥を散布し、適性を調査しています。

弘前大学による調査研究は?

弘前大学はホタテ残渣堆肥が玉ねぎ栽培に適しているかを調査しています。8月10日、郷沢地区の転作田でホタテ残渣堆肥を散布したほ場で収穫した玉ねぎと、散布していないほ場の玉ねぎを収穫しました。現在、収穫量を調査中で、調査結果に基づき今後の方向性を打ち出していきます。

今後の施策は?

高収益な生産構造を創るとともに、ホタテ残渣堆肥に合う作物を選定し、農家の経営安定化につながる施策を展開していきます。



官 蓬田村



学 弘前大学による調査研究



▲玉ねぎを収穫する弘前大学の学生



▲玉ねぎ栽培の検討会の様子



▲ホタテ残渣堆肥を製造中

一次産業を目的に来る移住者にも対応できるように

村では今年度、空き家対策として空き家調査を行っているほか、移住促進として青森県の移住パンフレットに村の医療や交通、子育て環境などの情報を掲載しています。

一次産業を目的に来る移住者は、住居やトマト栽培などの土地を確保しなければなりません。移住者の受け入れに対応できるよう整備事業を検討しています。



▲空き家の整備を検討しています



▲移住パンフレット「あおもり美和(びより)」

7 / 21 モスの産地直送イベント

モスバーガースタッフが村産トマトの収穫を体験

大手ハンバーガーチェーンのモスバーガー県内スタッフが、提携産地である蓬田村を訪れ、トマトの収穫体験をしました。体験を通して、新鮮な野菜を出荷する農家と、その美味しさを店頭で伝えるスタッフはお互いの想いを受け取りました。村産トマトを使用したハンバーガーは7月22日(金)から3日間限定で県内全店舗で提供されました。



▲坂本忠孝さん(中沢)のハウスで収穫を体験

7 / 26 思いやりの心を育てよう

人権スポーツ教室

プロバスケットボールチーム「青森ワッツ」の館山選手と下山選手を講師に迎え、蓬田小学校において、人権スポーツ教室が開催されました。参加した蓬小ミニバス部の児童は、試合や昼食を共にして、交流を深めました。児童は、「チームワークはどうやって強くしますか?」など両選手に積極的に質問し、仲間を思いやる大切さを学びました。



▲青森ワッツの選手との交流試合を楽しむ児童

7 / 31 熱い砂浜で暑さを楽しむ

第13回よもぎた玉松ビーチバレーボール大会

玉松海水浴場において、よもぎた玉松ビーチバレーボール大会が開催され、村内外から12チームが参加しました。選手は砂まみれになりながら、豪快なスパイクを決めたり、巧みなチームプレーを見せました。会場を訪れた観光客は、海水浴やキャンプを楽しみながら、開放感あふれる砂浜での試合を観戦していました。



▲一進一退の攻防に観客はハラハラドキドキ

8 / 7 真夏の祭りに大はしゃぎ

第22回玉松海まつり

真夏の太陽が照りつける玉松海水浴場で、第22回玉松海まつりが行われました。会場に駆けつけた多くの観光客は、村特産品などの豪華景品をかけて宝探しゲームや爆弾ゲームに挑戦しました。飲食コーナーの焼きそばやかき氷、ホタテの無料試食には長蛇の列ができたほか、建築組合による包丁研ぎも大好評で、祭りは大盛況に終わりました。



▲トマト早食い、トマトジュース早飲み決勝戦(子どもの部)

祝 蓬田村成人式

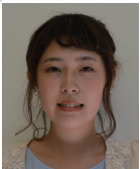


平成 28 年度蓬田村成人式

8月14日（日）、ふるさと総合センターにおいて平成28年度蓬田村成人式が行われました。今年の新成人は26名（男性13名、女性13名）で、うち21名が式典に出席しました。新成人は恩師や地域の方々に見守られる中、成人式を迎えることができた感謝の気持ちや、成人の誓いを述べました。

式典後の記念の集いでは、幼少の頃からの写真や動画を集めたDVDが上映され、照れくさい映像や懐かしい映像に歓声が上がりました。

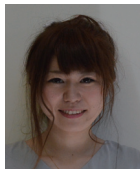
新たな門出を迎えた新成人の想いを紹介します



久慈 綾乃（高根）
「成人になるという
実感があまりあり
ませんでした。

が、成人式を迎え、大人の仲間入りになる事を自覚しました。将来の夢に向かい日々努めていきたいです。」

成人になった感想・心境は？



寺田 美理（阿弥陀川）
「今、私は千葉で暮ら
しています。久しぶり
に蓬田村に帰ってきて

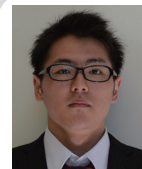
変わらない友人や自然が豊かな蓬田村を見て、とても安心しました。20年間育ててくれたお母さん、たくさん迷惑をかけた方々、友人の皆さんに感謝して、千葉でもう少し成長してこようと思いました。」



川崎 慎平（広瀬）
「これからは、責任が大
きくなるので大人とし
てしっかりしていく。」



田中 敏貴（蓬田）
「求められる事も多
くなって色々大変
になりました。」

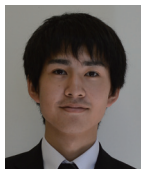


渡部 龍之介（蓬田）
「まだ実感はありませ
んが、これから少しづ
つ感じていき、大人と
して生活していきたいと思

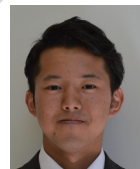
これからの夢や目標は？



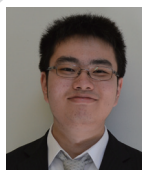
小笠原 健祐（中沢）
「照明を目指していて、専門学校卒業後、大手に勤めたいです。」



坂本 智也（中沢）
「みんなが帰ってきた時に『やっぱり蓬田村が良いな』と思える村にしたい。」



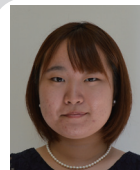
田中 慎弥（蓬田）
「世界を股にかける男になる。」



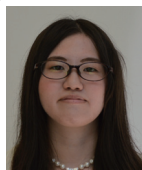
吉田 智晃（阿弥陀川）
「仕事でより大きな役割の立場につくため、資格を取得し、自身に反映したい。」



遠田 光（阿弥陀川）
「大学生活で自分の学びたいことを意欲的に学び、サークル活動で自分の趣味に打ち込んで充実させた上で社会に出ていきたい。」



津嶋 真穂（蓬田）
「これからの夢は、来年上京するので家事を頑張りたい。将来活躍するのを見守っててください。」



久慈 遥佳（広瀬）
「中学生の頃から夢だった介護職員になり、とても大変ですが、やりがいのある仕事です。これからの目標は、来年の介護福祉士の資格を取ることと、利用者様とのコミュニケーションを大切にし、心の支えになれる介護福祉士になることです。」



八戸 菜月（阿弥陀川）
「責任を持って行動し、礼儀をわきまえる大人になるようにする。」



稲葉 亮太（宮本）
「たくさんの人に愛されるスポーツレーナーになる！」



佐藤 巧真（阿弥陀川）
「安定した暮らしができ、普通に就職して、良き相方と暮らしたいです！」

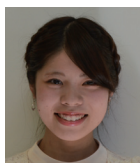


高田 颯（郷沢）
「大きなことが出来なくても、親孝行は出来るような人間になりたいです。」

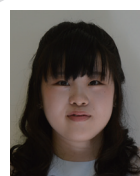
育ててくれた ご両親へ一言！



川崎 美雪（広瀬）
「私のやりたいように好き勝手野放しにして育ててくれてありがとう。色々あったし、これからも色々あると思いますが、これからもよろしく。長生きしてください。」



坂本 夢叶（中沢）
「いつも好きなことをさせてくれてありがとう。これからもずっと一緒にいようね！」



古川 芽依（阿弥陀川）
「20年間、愛情をもって育ててくれてありがとう。お母さんみたいに料理上手で、お父さんみたいに優しい人になれるようにがんばります。」



蝦名 えりか（広瀬）
「たくさん心配をかけた、迷惑をかけました。これからは、今までお世話になった分、恩返ししていきたいです。」



木村 比奈子（瀬辺地）
「今までたくさんありがとう。これからもたくさんよろしくね。」

20年前（平成8年）の

蓬田村の出来事

8月

○ふるさと宅配便「よもぎたグリーンパッケージ」発送（特産品のトマトやホタテ、手作り味噌など計10品を25名に発送）

○成人式を中央公民館で挙行（対象者60名のうち、男23名、女22名、計45名出席）

9月

○第5回デュアスロン大会（県内外から185名参加）
○蓬田米の名称が「おかわりちゃん」に決定

11月

○蓬田村民号「田沢湖遊覧と角館の旅」実施
○JR蓬田駅の企画で行われた1泊2日のバスの旅

○児童館・玉松公民館解体
※当時の広報より抜粋

B型肝炎ワクチンの定期予防接種化について



平成28年10月1日よりB型肝炎ワクチンが定期の予防接種となります。

■対象者

・平成28年4月1日以降に生まれた方

■接種回数・接種間隔

・合計3回
 ・27日以上の間隔で2回接種した後、第1回目の接種から139日以上の間隔をおいて1回
 (標準的には生後2月～生後9月に至るまでの間)

※1 定期化前に接種を受けた方については、回数分の接種を受けたものとみなします。

※2 母子感染予防の対象者（抗H B s 人免疫グロブリンの投与に併せて組換え沈降B型肝炎ワクチンの投与を受けたことのある方）は定期予防接種の対象外です。

対象の方には9月下旬に通知します。

▶問い合わせ 役場 健康福祉課 ☎ 27-2111

国民健康保険被保険者証の更新について



現在使用している「水色の国民健康保険被保険者証」は、平成28年9月30日までの有効期限となっていますので、右記日程で更新を行います。

■持参するもの

・現在使っている被保険者証
 ・印鑑
 ・修学のため他市町村に住所をおく方は在学証明書
 (今年度提出済の方は不要)

※当日来られない方は、後日役場で更新して下さい。

▶問い合わせ 役場 住民課 ☎ 27-2111

○平成28年9月28日(水)

9:00～9:30	農業者トレーニングセンター
10:00～10:30	高根消防屯所前
10:45～11:45	広瀬公民館
13:15～14:15	瀬辺地民生会館
14:30～15:30	郷沢自治会館

○平成28年9月29日(木)

9:15～10:15	中沢公民館
10:30～11:30	旧長科公民館
13:15～14:15	阿弥陀川公民館
14:30～15:30	中央公民館

Hello! I'm Ashley Jean Bell.



任期を終えたエイドリアナに代わり、新しく赴任したALT(英語指導助手)を紹介します。

☆名前 Ashley Jean Bell
 (アシュリー・ジーン・ベル)

☆ニックネーム Ash (アシュ)

☆出身 アメリカ・カリフォルニア州

☆出身大学 サンタクララ大学(国際政治学専攻)

☆趣味 音楽鑑賞・読書・海外旅行

☆家族 父・母・妹1人・弟3人の7人家族

☆好きな日本食 うどん

☆来日 3回目(1回目:高校の卒業旅行で東京・茨城へ。

2回目:日本語を学びに名古屋の大学に1年留学。)

早速、村の夏を満喫



8月3日(水)に蓬田村に来たアシュリー。カリフォルニアより湿度が高いので暑くて寝苦しいとのこと。7日(日)には自転車です松海水浴場を訪れ、海まつりやマルシェよもぎたでの「流しトマト」を楽しみました。

お知らせ

災害に伴う県税の減免措置について

台風、地震などの災害により被害を受けられた方には、県税の減免、徴収猶予、申告等の期限の延長の制度があります。これらの制度の適用を受けるには、いずれも申請が必要です。

詳しくは、東青地域県民局県税部までお問い合わせください。

▼問い合わせ 東青地域県民局県税部 納税管理課
(青森市新町二丁目4-30 県庁舎北棟1階)
☎017-734-9970

9月11日は警察相談の日

警察では、DVなどの暴力、ストーカー、特殊詐欺などの事件・事故による被害の未然防止に関する相談に応じています。

警察本部では、相談電話として「#9110」番または「017-735-9110」を開設し、専門の相談対応者が対応しています。プライバシーに十分配慮しますので、お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ
☎#9110または
☎017-735-9110
または外ヶ浜警察署
☎22-2211

自衛官募集

■種目 ①防衛医科大学校生 ②看護学生 / 防衛大学校生 ③推薦 ④総合 ⑤一般前期 ⑥陸自看護

■受付期間
⑥9月1日(木)～30日(金) ③④9月5日(月)～8日(木) ①②⑤9月5日(月)～30日(金)

■応募資格(男女) ※平成29年4月1日現在の年齢
○防衛医大・防衛大・看護学科学生↓高卒(見込み含む) 21歳未満の者

○陸自看護↓看護師免許を有し、保健師若しくは助産師免許取得者(見込みの者) 免許取得者は23歳以上36歳未満の者

■その他 詳しくはお問い合わせ下さい。

▼申込・問い合わせ
自衛隊青森地方協力本部青森募集案内所
☎017-783-2995

9月は国保税3期分、固定資産税2期分の納付月です。

秋のイベント案内

無料送迎バスが出ます。詳しくは回覧でご確認下さい。

よもぎた村民祭

期日：9月11日(日)
場所：ふるさと総合センター
時間：午前9時～
※9月10日(土)は展示のみとなります。

敬老会

期日：9月14日(水)
場所：トレーニングセンター
時間：午前10時30分～

青森大学の学生が蓬田村を紹介
首都圏女子大学生、日本拳法部合宿 in 蓬田

「NPO法人プラットフォームあおもり」と「青森大学」の企画で村と共催した、首都圏女子大学生の日本拳法部の合宿がふるさと総合センターにおいて8月6日(土)から4泊5日の日程で行われました。

首都圏の学生は日本拳法の練習の合間に、青森大学の学生が企画する蓬中生との交流やトマトの収穫を体験しました。学生は村民との交流を楽しんでいて、また来年も来たいと話してくれました。



▲蓬中1・2年生が日本拳法の「突き・けり」を体験



▲津島鉄平さんのハウス(蓬田)でミニトマトの収穫を手伝う



▲選果場の巨大冷蔵庫を見学し、「涼しい」と大はしゃぎ



▲お別れ会には日本拳法を体験した蓬中生が来てくれました

戸籍の窓口

【7月受付分】(敬称略)

■お誕生おめでとうございます

中村 あいらり 椋梨 (卓也 (阿弥陀川)
女の子 真由美
 稲葉 か みち香 (翔 (蓬 田)
女の子 美香
 越田 いおり 伊織 (徹郎 (瀬 辺 地)
男の子 渚
 加藤 さくと 朔歩 (柊 (瀬 辺 地)
男の子 育美

■ご冥福をお祈りします

小鹿 一男 71歳 (長 科)
 青木 繁雄 86歳 (阿弥陀川)
 佐井 一衛 83歳 (阿弥陀川)
 田中 義光 84歳 (阿弥陀川)
 濱田 正雄 76歳 (蓬 田)
 北川 政男 85歳 (瀬 辺 地)
 久慈 トミ 94歳 (広 瀬)
 久慈 義孝 60歳 (広 瀬)

■蓬田村の人口 (7月31日現在)

区分	人口	前月比
総人口	2,949	-2
男	1,430	-1
女	1,519	-1
世帯数	1,168	±0

後期高齢者のみなさまへ

かかりつけ薬局をもちましょう

いつも同じ薬局から薬が処方されることで、複数の医療機関から処方された薬を薬歴でまとめて管理ができるので、薬の飲み合わせや重複による副作用を未然に防ぐことができ、健康管理のサポートになります。

※切り取り

よもぎ温泉 入浴ご優待券

(1枚で5名様限り有効)

大人入浴料 50円引 (350円→300円)

有効期限：平成28年9月30日

☎ 0174-27-2170

定休日：火曜日(火曜祝日の場合は翌日)



今月のテーマ

「結核予防週間・自殺予防週間」

◆9月24日～30日は結核予防週間◆

「結核」は過去の病気だと思いませんか？今でも1日50人が発症し、5人が命を落としている日本の重大な感染症です。結核の関心や予防に対する意識が薄れ、発症に気づかずに受診が遅れる人も少なくありません。

◆2週間以上続くせきに注意◆

結核患者の約6割が70歳以上の高齢者です。若い頃に感染し、発症せずにいた結核が、高齢になり免疫力が落ちた頃に発症することもあります。働き世代や家族が風邪と勘違いし、受診が遅れ、周囲に感染させる恐れもあります。

2週間以上続く、せき・痰・微熱

急に体重が減る

体がだるい

胸痛


食欲がなくなる

結核の初期症状は風邪に似ています。上記の症状がある時は、早めに医療機関を受診しましょう。結核は正しい治療で治ります。

感染・発症予防に重要なことは、体の免疫力を高めておくことです。適度な運動、十分な睡眠、バランスの良い食事、禁煙などに気をつけましょう。

こころの健康

●ストレスが原因で増え続けるうつ病

「ストレスくらいで休んでいられない」「こころの  まずがない」など感じる方はいませんか？ストレス状態が続けば心身のバランスが崩れ、精神的・身体的トラブルを生じることがあります。その一つが、気分が落ち込み、何事にも興味を失ってしまう「うつ病」です。心が弱い人になると思われがちですが、誰でもかかる可能性があります。

●ストレスとうまく付き合う

自分に合う解消法を見つけていきましょう。

- ①食事や就寝・起床の時間を一定にし生活リズムを見直す
- ②食事はバランス良く食べ、家族や友人と楽しく食事をする
- ③自分の時間を作り、趣味やスポーツを楽しむ
- ④入浴、マッサージ、アロマ、散歩などを取り入れ、体と心をリラックスさせる
- ⑤安眠できる環境を整え、質の良い睡眠を取る



●9月10日～16日は自殺予防週間です

つらい気持ち・ストレスを一人で抱え込んでいませんか？深刻化する前に専門の相談機関に相談する事が重要です。青森県内にも、ストレスや悩みに応じた相談窓口がありますので、お問い合わせ下さい。また、村では毎月一回最終週の木曜日に、精神保健福祉士による「あなたのこころの健康相談(こころのサロン)」を開催しています。9月は29日に開催されます。予約優先ですが、当日の相談も受けられますのでお越し下さい。

また、本人だけではなく、周りの協力も大切です。元気がない、いつもと様子が違うなど、気になる人がいれば、まずは声をかけてあげてください。話を聞いてもらうだけで気持ちが軽くなります。身近な人の違いに気づくには、普段の会話や気軽に助け合える関係づくりも大切です。そこから、適切な医療機関・相談先につながることで、救える命もあります。

▶問い合わせ 役場 健康福祉課 ☎ 27-2111 (内線 233、244)